

プロベナゾール粒剤 オリゼメート粒剤	取扱メーカー： サンケイ＊、北興、Meiji、琉産 原体メーカー： Meiji
成分： プロベナゾール……………8.0％	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 稲いもち病・白葉枯病・もみ枯細菌病を水面施用で同時防除が可能である。また、育苗期から本田を通じて使用できるので各種薬剤との体系防除が可能である。
- 長期間効果が持続する（約45日間）ので本田の1回の散布は、通常のいもち病又は白葉枯病の散布剤より省力的である。
- 雨間散布もできる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈育苗箱施用〉

- いもち病・白葉枯病が本田初期より発生する地帯では、移植3日前～移植前日に本剤を所定量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤を払い落としのち十分に灌水する。

〈本田使用〉

- 使用時期を守り予防的散布を行う。
- 葉いもち防除の使用適期は、初発の7～10日前であるので、発生予察情報に注意して時期を失ないように散布する。
- 穂いもち防除の使用適期は、出穂3～4週間前である。
- 白葉枯病に対しては、移植活着後（移植後7～10日）なるべく早く使用の方が有効である。
- 出穂期以降の白葉枯病、もみ枯細菌病、穂枯れ（ごま葉枯病菌）に対する使用適期は、出穂3～4週間前までである。

〈ねぎ〉

- ねぎの軟腐病に使用する場合、土寄せ2日前～直前、所定量の薬剤を株元散布した後、土寄せを行う。

【薬効・薬害等の注意】……………

〈育苗箱に施用する場合〉

- 施用は苗の上から均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とし十分灌水する。
- 葉が濡れている状態では使用をさけ、また、散布直前の灌水はさける（薬害）。
- 軟弱徒長苗、ムレ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用する。
- 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出したりしないように注意する。
- 処理苗を本田に移植した後は、そのまま湛水状態（湛水深3～5cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
- 本田が砂質土壌、漏水田、未熟堆肥多用の場合は育苗箱施用はしない。
- 低温が続き、活着遅延が予測される場合は使用しない。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る（葉の黄化、生育遅延）。

〈本田に施用する場合〉

- 湛水状態（湛水深3～5cm）で均一に散布しムラ播きしない。散布後4～5日は、湛水状態を保ち、田面露出、水切れをさけ、散布後7日間は落水、かけ流しをしない。
- 砂質土など漏水の多い水田での使用はさける。
- 養魚田での使用はさける。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用する。

〈野菜類に使用する場合〉

- 細菌病、特にはくさいの軟腐病に使用する場合、多発のおそれがある圃場では所定範囲の高量をを用いる。
- きゅうり、ピーマンに使用する場合は、植穴の

土壌と十分に混和する。

●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

●適用作物（稲，きゅうり，ピーマン，レタス）の葉害などの注意は「葉害注意事項解説」を参照。

●夏期高温時の使用をさける。

●魚類に影響を及ぼすので，使用時並びに使用後も注意。



【安全対策上の注意】

●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。

【適用と使用法】

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む 農薬の総使用回数	
稲	いもち病	3～4 kg	葉いもちには初発 の10日前～初発 時、穂いもちには 出穂3～4週間前 収穫14日前まで	2回 以内	散布	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)	
		3 kg	移植時	1回	側条施用		
	白葉枯病 もみ枯細菌病	3～4 kg	移植活着後及び 出穂3～4週間前 収穫14日前まで	2回 以内	散布		
	穂枯れ (ごま葉枯病菌)		出穂3～4週間前 収穫14日前まで				
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病	育苗箱 (30×60× 3 cm, 使用土壌約5 ℓ) 1箱当り20～30 g	移植3日前 ～移植前日	1回	育苗箱の苗 の上から均 一に散布す る。	1回	
きゅうり	斑点細菌病	6～7.5 kg (5 g／株)	定植時		植穴 土壌混和		
ピーマン とうがらし類	斑点病 うどんこ病	5～10 g ／株			土壌混和		
レタス 非結球レタス	腐敗病 斑点細菌病	6～9 kg			全面 土壌混和		
ブロッコリー	黒腐病				全面土壌混 和又は作条 土壌混和		
キャベツ					全面 土壌混和		
はくさい	軟腐病	6 kg	は種時又は 定植時		2回 以内		株元散布
ねぎ			土寄せ時 但し、 収穫30日前まで				
わけぎ		6～9 kg	生育期 但し、 収穫35日前まで		1回		株元散布
あさつき			土寄せ時 但し、 収穫30日前まで				
カリフラワー ひろしまな			定植時	全面土壌混和			